

「口が痛そう」という主訴で来院した猫の食事指導

Diet instruction to the cat's owners who come to the hospital with the chief complaint of "He seems to have pain in the mouth"

吉村 忍 (よしむら しのぶ) (1)
(1) プリモ動物病院相模原中央

白畑 壮 (しらはた そう) (1) 三浦 貴裕 (みうら たかひろ) (2) 草場 宏之 (くさば ひろゆき) (3) 佐藤 陽子 (さとう ようこ) (4)
高田 麻由 (たかた まゆ) (2) 永田 あかね (ながた あかね) (4) 和田 藍果 (わた あいか) (5) 鈴木 義之 (すずき よしゆき) (1)
(1) プリモ動物病院相模原中央 (2) 相模大野プリモ動物病院 (3) 横浜戸塚プリモ動物病院 (4) 厚木プリモ動物病院 2 3 時 (5) 相模原プリモ動物病院

はじめに

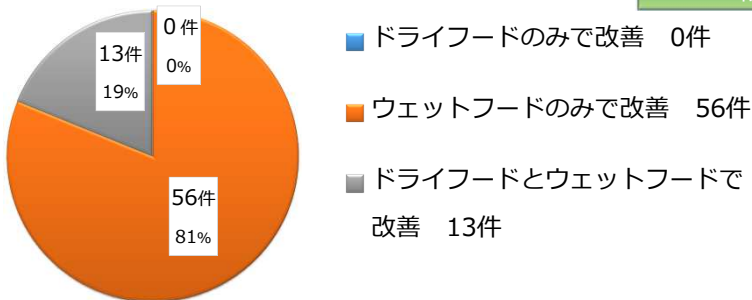
「口が痛そう」という主訴で来院した猫の原因は歯周病・口内炎・腎不全による影響など様々である。「食べ方がおかしい」「食べたそうにしているが食べられない」などの臨床症状で気づき来院されるが、既に口腔内環境が重症化することにより食欲低下を伴っている。

口や舌を動かす・水を飲むという行為で、歯垢が取れ、細菌の増殖が抑えられているが、口を動かさないという状態が続いてしまうと、口腔内環境が悪化し、体力・抵抗力も落ちてしまう。このようなケースはご家族にとっても非常に耐え難く、私たち動物看護師は適切な食事指導をしなければならないと考える。

方法

当院の過去4年間で「口が痛そう」という主訴で来院した猫を100件抽出し、更にその中から食欲低下を伴っていたが食欲が改善した症例を抽出した。それをデータにまとめ何を与え食欲が改善したかを割合で示した。

結果

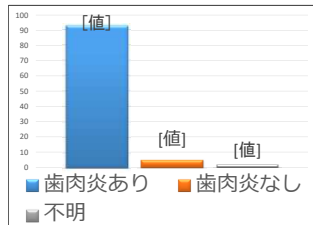


口腔内疼痛の原因は歯周病・歯肉炎・腎不全による影響・口腔腔瘍など様々であったが、食欲改善したフードの硬さは**ウェットフード** (ドライフードのふやかし・缶詰め・ペースト・スープ状) が大半を占めその割合は8割であった。又、ドライフードのみでは食欲が改善した猫はみられなかった。

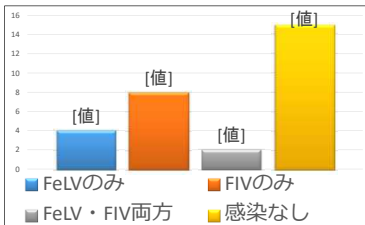


今回の調査結果から得られたデータ

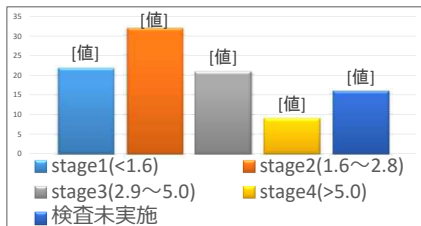
歯肉炎の有無



FeLV・FIV感染数



IRISのCKDステージ分類におけるクレアチニンの値



プロフィール 主訴 現病歴

3歳 去勢雄 Mix
犬歯の横が腫れている 歯がぐらついている 食欲が落ちている
歯の揺れが以前からあった 4日前から食べる時に痛がる仕草あり
ドライフードをふやかしたものであれば普段の量の10~20%食べる

身体検査所見

左上顎I3の動揺と辺縁の歯肉炎
その他の上顎切歯は全て欠失 (同居猫との喧嘩のため)

治療・経過

第1病日

皮下点滴 抗生剤・消炎鎮痛剤注射
抗生剤・消炎鎮痛剤処方

第8病日から

App (+) リカバリーサポート



症例 1

プロフィール 主訴

年齢不詳 雄
口臭 目脂・鼻水が出る 嘔吐 (+) 2日前に歯が抜けた
食欲が落ちている

現病歴

昨日より飲水もせず嘔吐

身体検査所見

左下顎重度歯周病 FeLV・FIV (+) 発症の可能性が高い
腹水 (+)

治療・経過

第1病日

皮下点滴 抗生剤・消炎鎮痛剤・胃薬注射
鎮痛剤処方 a/d缶お渡し

第3病日から

App (+) a/d缶



症例 2

考察

「口が痛そう」という主訴で来院した猫の罹患している疾病は様々である。

何らかの口腔疾患に罹患している場合、口腔内における炎症、不快感、疼痛により非特異的に口からの流涎・出血・口臭・顔の腫れなどの症状を示すことがある¹⁾。猫には、難治性の慢性歯肉口内炎とよばれる疾病がある。この慢性歯肉口内炎の原因ははっきりとしたことはわかっていない。一般的にその疾患の原因は、猫ウイルス性鼻気管炎、猫カリシウイルス感染症といったウイルス感染が考えられている。また、猫白血病ウイルスや猫免疫不全ウイルスの感染は直接的な原因にはならないが、免疫力・抵抗力・治癒力を低下させるため、歯肉口内炎が治りにくくなり、症状がひどくなるといった症状の経過に関与しているとも考えられている。本調査においては、20%がFeLVに感染、34%がFIVに感染していた。他には、全身状態に伴って口内炎を引き起こす場合もある。腎不全によって尿毒症になると唾液中のアンモニア濃度が高くなり口内炎になることがある。本調査においても、79%の猫がIRISのCKDステージ分類においてstage2以上の値を示した。

以上に挙げられるような様々な要因はあるものの、「口が痛そう」という主訴で食欲不振を呈している猫のうち8割が、ウェットフードでの食欲改善を示した。

以上のことから、「口が痛そう」という主訴の猫において、ドライフードよりウェットフードを勧めることが望ましいと考える。

参考文献

1) 藤田佳一. 犬・猫の歯周病の特徴と治療. inforvets.no.64.4-35.2013